

事業完了（廃止等）報告書

調査研究期間等

調査研究期間	令和元年5月22日 ～ 令和2年3月13日
調査研究事項	<p>《委託研究Ⅲ》</p> <p>ア. 教育課程に関すること</p> <p>イ. 教職員の配置・研修に関すること</p> <p>ウ. 環境整備に関すること</p> <p>エ. その他夜間中学における教育活動充実に関すること</p>
調査研究のねらい	<p>○年2回の教員研修に、大阪産業大学国際学部国際学科教授を講師として招聘し、継続な指導を受ける。専門的な日本語指導及び支援の視点を取り入ながら、多様な生徒に対応した教育課程の編制を行い、教育活動の充実を図る。</p> <p>○年3回の研究授業や研究協議に、神戸YWCA学院から識字・日本語指導の講師を招聘し、継続的な指導を受ける。専門的な識字・日本語指導を体験的に学び、教科における授業力の向上を図る。</p> <p>○夜間中学においてのDLAの活用について先進的に研究をしている墨田区立文花中学校夜間学級の先進校事例の調査をおこない、教科における学力の向上への有効性や可能性を研究する。</p> <p>○高齢な生徒が多い中、養護教諭の配置がなく、まずは学校行事や校外指導における安全面の確保が急務である。生徒が安心して参加し、体験的な学びを深めることができるよう、養護教諭経験者等を招聘し、健康や安全への支援体制を充実させる。</p> <p>○入管法が新しくなり新渡日の生徒の入学が急激に増え、多文化共生支援の充実が急務である。生徒が安心して参加し、体験的な学びが深まるよう、通訳を招聘し、健康や安全への支援体制を充実させる。</p> <p>○第38回夜間中学増設運動全国交流会や全夜中研夏季研修交流会、基礎教育保障学会第3回研究大会に出席し、先進地域での取組を情報収集するとともに、お互いの成果や課題を意見交換し、環境整備の含めた教育活動の充実を図る。</p> <p>○全国夜間中学研究会第65回兵庫大会の開催に向けて、兵庫県内3校の連携強化はもとより、全夜中研や近夜中協との関係の充実を図る。先進地域での取組を情報収集するとともに、お互いの成果や課題を意見交換し、環境整備を含めた教育活動の充実を図る。</p> <p>○サポート・ステーション等での研究実践を調査し研究を深める。受け入れ実績が少ない不登校経験者への支援スキルの習得を図るなど、多様な生徒への支援の在り方を探る。</p>
調査研究の成果	<p>○年2回の教員研修に、大阪産業大学国際学部国際学科教授を講師として招聘し、継続な指導を受けた。本校実態に応じた日本語支援や指導の充実への示唆などを受け、教育活動全体の方向性や在り方について検討が進んだ。5教科5段階習熟度授業における3年間分の教育課程を編成した。また、「日本語学習で『育てたい力』6項目の内、授業</p>

	<p>で育成する重点項目として4項目に絞り込み、より実践的な授業改善の目安を明確化し共通理解を深めた。</p> <p>○年3回の研究授業や研究協議に、神戸YWCA学院から識字・日本語指導の講師を招聘し、継続的な指導を受けた。専門的な識字・日本語指導の具体的な手法を学んだ。教科学習おける有効な日本語指導の在り方について、共通理解を深めた。</p> <p>○先進校事例調査として荒川第九中学校夜間学級を取り上げた。日本語学級を設置していない状況で多言語を母語とする生徒を対象に、どのようにして日本語を充実させて指導する生徒から高校進学を目指す生徒までを指導しているのかを調査した。その実践を校内で情報共有し、高校進学者への対応を検討する上で参考となった。</p> <p>○学校行事や校外学習に養護教諭経験者を招聘した。生徒の心身の安全を確保でき、ひとり一人が安心して体験的な学びを深めた。</p> <p>○学校行事や校外学習に多文化共生支援員を招聘した。母語支援によって、日本語の苦手な生徒も安心して参加でき、体験的な学びを深めた。留意事項等も確実に伝わり、安全面への指導の徹底を図れ、事故もなく教育活動を終えた。</p> <p>○第38回夜間中学増設運動全国交流集会や全夜中研夏季研修交流会、基礎教育保障学会第3回研究大会に出席した。義務教育や学びの機会を求める方の情報や、成果や課題、今後のことを意見交流した。その情報を校内で共有し、環境整備を含めた教育活動の在り方を検討する上で参考になった。</p> <p>○全国夜間中学研究会第65回兵庫大会の開催を通して、兵庫県内3校の連携強化が図れ、大会を成功裏に終えた。また、近畿をはじめ、全国の夜間中学関係者との絆を深めた。成果や課題、今後のことを意見交流し、環境整備を含めた教育活動の充実に繋がった。</p>
--	---